

CyberCrime Control Project

平成27年第3号

広島県警察本部
サイバー犯罪対策課
082-228-0110

～身代金要求型不正プログラム **ランサムウェア** に注意～

会社のデータが人質に!?

「ランサムウェア」とは

ランサムウェア(Ransomware)とは、コンピュータ・ウイルスの一種です。ランサムウェアに感染すると、コンピュータ内の画像や文書、場合によっては保存したデータ全てが暗号化され、利用することができなくなってしまいます。この暗号化されたデータは、ランサムウェアを作製した犯人しか元にもどすことができないため、それを人質の様にして犯人は金銭を要求します。この行為が「身代金」を指すRansom(ランサム)の由来となっています。

2014年ころから国内でも徐々に増加し、2015年には日本語に対応したランサムウェアが確認され、ついに**当県においても**被害が確認されました。

感染経路

「ランサムウェア」の感染経路は、前号お知らせした「標的型攻撃」と同様に、メールに添付されたファイルを開封して感染したり、ウイルスが仕込まれたサイトを閲覧して感染してしまうというものです。



対策

■ まずは...徹底した事前対策

- ファイアウォールの設置, ウイルス対策ソフトを導入し常に最新の状態に!
- OS及びJava, Flashなどのソフトウェアを最新の状態に!
- 定期的にバックアップをする! **要求金額を支払っても, データが元に戻る保証なし!**
※バックアップファイルを使って当時のデータを復元することが可能になります。

■ 社員に対する教養の徹底

- メールに添付ファイルを開く時は細心の注意を払うよう周知徹底を図る!
- 会社のパソコンからは業務外のWebサイトの閲覧, Webメールの使用を禁止する!

